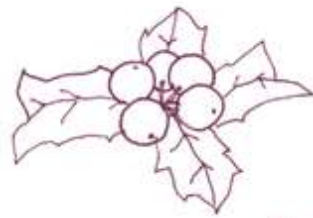


家族で子育て Q&A 24



Q 子供が来春、小学生になるのですが、おとなしすぎて学校でやっていけるか心配です。

A たくさんの友達がいる小学校は社会性を育む場所です。友達との交流を、親も一緒に楽しむようにしましょう。

社会性を育てよう

小学生の時期は、生活の場が広がり、子供の社会性が豊になる時期です。さまざまな地域や性格の子供たちが集まってくることを知り、かかわってけるよう導いてあげましょう。

決まった時刻に登校すること、上級生がいること、ルールがあることなど、みんな新しい経験です。たいてい自然に慣れていきますから心配いりませんが、個人差があります。内気だった不安が強かったりすれば、少し時間がかかるかもしれません。

が、焦らず見てあげてください。新しい体験をすると子供は親に話したがりです。「友達のおじいちゃんが面白い話をしてくれたよ」などと話しかけてきたら、よく聞いてあげてください。それが子供の安心になり、友達との交流を通して、共感できる世界を広げていきます。

大人同士のいい関係

知らない間に疲れたり、辛かったりすることもあるでしょう。親が気づかないことでも、担任の先生はよく子供たちを見ているものです。

子供が学校に行きたがらない

と心配する母親が、担任から「細やかな性格なので気疲れするのでしょう。休ませてもいいですよ」と言われ、そうしたことでも元気になったケースもあり、相談すれば意外と早く解決します。友達を自宅に招くと子供たちの振る舞いがわかり、子供もお家にはそれぞれのルールがあることを理解します。

そしてお母さん、お父さんが学校や地域のイベントに顔を出して、親同士が知り合いになると、そのなかで子供たちは守られて成長します。大人のいい関係が、子供にとっても良い育ちの環境になります。